

「母間小学校の池間棒踊り伝承活動の取組」

1 学校名

徳之島町立母間小学校

2 学年・人数

3年～6年及び職員（計28人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

令和元年9月

総合的な学習の時間（6時間）

本校体育館及び校庭

(2) 発表の日時・場所

令和元年9月16日（月）敬老会（池間生活館）

令和元年9月23日（月）秋季大運動会（本校校庭）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

池間棒踊り（いけまぼうおどり）

(2) 由来

大正時代、下久志の青年たちが仕事の関係で奄美大島の龍郷町屋入鉾山で働いていた時、その鉾山で同じく鹿児島から来ていた鉾山師が祝いの席などで勇ましい棒踊りを披露した。下久志の青年たちは、その魅力にひかれ、棒踊りを習得し帰島した際に様々な行事で棒踊りを踊った。池間の青年たちもその踊りを手本に棒踊りを習得し、「池間棒踊り」を完成させた。

（昭和63年10月15日町指定 民俗文化財に指定）

(3) 構成等

4人一組であるが赤組、白組と2人ずつに分かれて踊る。2部構成で前半は、赤白どちらも長い棒を持って踊る。後半は、白組だけが短い棒に持ち替えて踊る。

保存会の歌い手がおおり、その歌に合わせて勇ましく棒を打ち合わせたり相手が振り下ろす棒を受けたりする動作を隊形を変えながら行う。

5 保存会や地域との連携の具体

平成14年、創立100周年記念式典で披露したのを機に毎年運動会で児童と職員が踊っている。「池間棒踊り」を総合的な学習の時間で学習する際は、保存会の方がゲストティーチャーとして踊りの形を指導したり歌を歌ったりしながら練習に関わってくださっている。また、発表の機会を増やそう

ということで一昨年から地域の敬老会でも子ども育成会が中心となって児童の「池間棒踊り」を披露した。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

ふるさと教育として総合的な学習の時間の6時間を使い伝承活動を行っている。昨年度の動画を視聴したり保存会の方の歌を録音して活用したりと自分たちだけでも練習ができるような体制を整えている。また、練習の際は、上学年の児童が、初めて踊りに参加する学年をサポートする場を設定した。

7 取組の様子（練習状況、発表の場等）



【池間敬老会でも披露しました】



【運動会では保存会の方の歌で】



【白組は短い棒に持ち替えて】



【教職員も一緒に踊ります】

8 参加児童・教職員・保存会の感想・意見

- ・ 運動会前は、昼休みも練習した。今年は、県民族芸能伝承活動の表彰もいただきとてもうれしかった。そして、これからさらに上手になりたいという気持ちが強くなった。(児童)
- ・ 保存会の方が練習の際、一人一人の児童に熱心に関わってくださり細かい動きも指導してくださった。本番で自信たっぷりに演技する児童の様子を見てこれからも学校・地域がこの棒踊り継承に関わり、しっかりと連携していけたらよいと思った。(教職員)
- ・ 毎年、小学校の運動会で発表するにあたり、子どもたちが一生懸命練習に取り組む姿に感動を覚える。今後は、「池間棒踊り」を子どもから青年部へとさらに継承を広げていけたらと思う。(保存会)